

## 第27回やまぐち建築セミナー報告

山口支部青年部 神田周二

みなさま、いつも大変お世話になっております。山口支部青年部の神田です。先日（2/03）第27回やまぐち建築セミナーが開催されましたので、内容について報告をさせていただきます。

この度は建築家の乾久美子先生を招いてご講演いただきました。会場は、宇部市のヒストリア宇部で行い、120名程度の方にお越しいただきました。乾先生は実際にお会いした印象はとても気さくな方で会話の中でも人を和ませるような言葉をかけられていました。



乾先生には、ご多忙のところ快く講演依頼をお引き受け頂き、遠方より新幹線と電車を乗り継いで開場までご来訪頂きました。日帰りとのことでしたので、新山口駅までの送迎のご提案もさせていただきましたが地方ローカル線の実態調査もかねて、在来線も利用されたいとのことでした。その街のことを知りたいという印象を受け、移動時間もただの移動時間でなく、有意義な時間として考えられていました。

また、村野藤吾先生の作品に興味を持たれており、この度の会場も乾先生の意向に答えさせていただき、村野先生が設計されたヒストリア宇部にて開催させて頂く運びとなりました。

### 01：セミナースケジュールについて

- 2024年2月3日（土）
- 13:30～14:00 受付
- 14:00～14:20 開会・講師紹介
- 14:20～15:20 講演
- 15:20～15:40 質疑応答
- 15:40～16:00 閉会の挨拶



### 02：講演について

この度の講演では、「小さな風景と建築」というテーマをもとに、乾先生の作品紹介もかねて設計プロセスについてのご講演頂きました。パブリックとプライベートの中間領域としての「 commons 」の考え方に重きをおいて、設計をされており非常に分かりやすいご説明で私自身も司会の立場ではありましたが、聞き入っていました。



学生の参加も多く、県外からの参加者もおられ、若い世代も含め注目度の高い建築家であることを改めて実感させて頂きました。建築を目指す若い方にとって良い機会になれば幸いです。

講演の内容も様々な物件をもとに、設計プロセスのお話をいただき、1時間という講演があったという間に過ぎたような印象でした。前段にも記載しましたが、 commons の考え方を重要視されており、「庇」や「通り庭」などの中間領域の作り方が非常に魅力的でした。中でも宮島旅客ターミナルについては、街並みや風景に溶け込むような「隙間」の考え方が明快でした。「事業者側が無断で階段下の倉庫増築？」の話では設計者としての想いやこだわりの部分が聞けて親近感を感じました。



### 03：質疑応答について

講演開始の時間が少し早まった関係で質疑応答の時間を長めに確保することができました。前回と同様にスライドゥ\*を用いての質疑を受け付けましたが、コロナ規制の緩和もあり会場質疑とあわせての対応とさせて頂きました。質疑に関しては、先生と質問する方が直接話をできることが質問の補足や反応も見えることからリアリティがあっただけいなあと思いました。

\*スライドゥ：パソコン・スマホから質問等ができるwebサービス



学生からのたくさんの質問があがりましたが、乾先生が丁寧にユーモアも交えながら回答をされていました。現在も横浜国立大学で教鞭を持たれていることもあり、慣れている印象でした。わたし自身も講演の中で気になっていることもあり、近い質問が出た際に追加質問として乗っからせてもらいました。乾先生は、すべての質問に真摯にご対応頂きまして、スライドゥの質問で意図が読み取れない質疑に関しては、質問者の方に確認したい！と、とても積極的でした。



### 04：最後に

セミナーは年に1度ですが、やはり最前線で活躍されている建築家の先生のお話を聞ける場は大変貴重な機会だと感じました。勉強熱心な学生の参加も多く、将来の建築業界の未来に期待を持たせて頂きました。次回セミナーも多数の参加を期待しております。最後に改めて今回のセミナー開催に至るまでにご尽力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

